

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver
 京都大学(木津川) 工学部 建築学系 本館

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-	
2 騒音騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能	遮音性能の確保	5.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-	3.2
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	-	-	
2 換気・湿度・空気清浄性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	-	-	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
5 湿度・空気清浄性		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 換気・湿度・空気清浄性		-	-	-	-	
8 個別制御		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式	サーキュレーターを採用	5.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-	2.7
3.1 昼光利用		2.2	0.30	-	-	
1 昼光率		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備	トップライトの設置	4.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 グレア対策		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.2	0.25	-	-	3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
2 化学汚染物質		-	-	-	-	
3 化学汚染物質		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物内禁煙の実施	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			0.30			3.5
1 機能性		3.3	0.40	-	-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	清掃管理用スペースの確保	5.0	0.50	-	-	
3 維持管理用機能		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31	-	-	3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
1 耐震性	1.25倍の確保	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	更新時期の長い資材に変更	4.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	塩ビライニング銅板を使用(ドラフトチャンバー・排気ダクト内外面)	4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP、生活排水:VP、通気:VPを採用	5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.8	0.19			
1	空調・換気設備	空調・換気設備共系統の区分	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水器具の採用及び配管の系統区分	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信設備の浸水対策	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29			3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	平均階高3.9m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.17	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性	各階にケーブルラックを布設	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性	各階にケーブルラックを布設	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	バックアップスペースの確保	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観審査を経て地域環境を考慮	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		十分な断熱性能の確保	4.0	0.30			4.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20			4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライトの採用	4.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を採用	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		別途取扱資料参照	4.0	0.30			4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=17%	4.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	集中コントローラーの導入	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型便器等を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63			3.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材の容易な分別(乾式工法)の採用	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	F☆☆☆☆材の採用	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		換算スコア3.2	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33			3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減	敷地内に調整池・浸透性の表面(植栽や砂利敷)資材の設定	4.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	排水システムを一般と特殊に分類	4.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33			3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			5.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	敷地境界からの十分な離隔距離の確保	5.0	0.70			
2	屋外の建築物が壁による反射光(グレア)への対策	広告物照明を行っていない	5.0	0.30			